

# 事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

令和4年度の我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、ゆるやかな持ち直しが続きました。その一方で、世界的なエネルギー、食糧価格の高騰や欧米諸国の金融引き締めによる世界的な景気後退とその影響が懸念されるなど、周囲をとりまく環境は厳しさを増しています。

こうした中、当社は春日井市の「西の玄関」であるJR勝川駅に再開発事業の中核施設として再開発ビル(ホテル棟)を管理運営し、株式会社ホテルプラザ勝川に賃貸する事業や、ルネック、勝川駅南口ビル共有床、春日井市コミュニティ住宅の一般貸出などの不動産を賃貸する事業に加え、市営勝川駅前地下駐車場、市営勝川駅南口立体駐車場、ルネックスポーツクラブなどの勝川駅前公営施設、コミュニティ住宅の指定管理業務を春日井市より受託することで、勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりに寄与してまいりました。

令和4年度の当社の業績は、勝川駅前公営施設における営業活動の制約が解消されたことにより売上が回復し、売上は前期比24百万円増の438百万円となりました。営業利益と営業外損益を加えた経常利益は前期比3百万円増の73百万円となりました。また、今期は2期にわたって続いた子会社支援に伴う債権放棄損の計上が終了したことから、当期純利益も49百万円と過去最高となりました。

### (2) 設備投資の状況

特記事項はありません。

### (3) 資金調達の状況

特記事項はありません。

### (4) 対処すべき課題

当社売り上げの四分の一を占める子会社のホテルプラザ勝川は、ウィズコロナの進展により社会経済活動の制約が徐々に解除される過程においても感染の波による業績の落ち込みが大きく、引き続き事業立て直しに向けての支援が必要となります。

令和5年度はホテル棟の活用を進めるとともに、ルネック、勝川駅南口ビル権利者の意向を踏まえ、時宜に応じた管理体制を提案、推進してまいります。

公の施設の指定管理者業務におきましては、春日井市との協議を踏まえ、多様化する市民のニーズに、より効果的、効率的に対応できるよう取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	令和元年度 第24期	令和2年度 第25期	令和3年度 第26期	令和4年度 第27期(当期)
売上高 (百万円)	406	392	414	438
経常利益 (百万円)	63	66	70	73
当期純利益 (百万円)	42	9	9	49
1株当たり 当期純利益	2,966円30銭	662円7銭	660円38銭	3,480円15銭
総資産 (百万円)	1,464	1,440	1,459	1,527
純資産 (百万円)	522	531	541	590

(6) 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
株式会社 ホテルプラザ勝川	10百万円	100%	ホテルの運営

株式会社ホテルプラザ勝川の当期の売上高は804百万円、経常利益は△18百万円、当期純利益は△18百万円を計上しております。

当社と重要な子会社 株式会社ホテルプラザ勝川の単純合算した売上高は全体で1,242百万円であり、経常利益は55百万円、当期純利益は31百万円となりました。

(7) 主要な事業内容

① 不動産賃貸

- ・ ホテルプラザ勝川
- ・ ルネック
- ・ 勝川駅南口ビル
- ・ 勝川駅北立体駐車場
- ・ 月極駐車場
- ・ コミュニティ住宅一般貸出

② 公の施設の指定管理者

- ・ 勝川駅前公営施設
- ・ 勝川駅前地下駐車場
- ・ 勝川駅南口立体駐車場
- ・ コミュニティ住宅共用部管理

(8) 当事業年度末における従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
5名	—

(注) 上記従業員数には出向社員1名を含みます。なお、パートタイマー3名は含みません。

(9) 当事業年度末における主要な借入先

借入先	借入金残高
春日井市	838,500千円

## 2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 60,000株
- (2) 当事業年度末における発行済株式の総数 14,202株
- (3) 当事業年度末における株主数 156名

## 3. 会社役員に関する事項

### (1) 当事業年度末における取締役及び監査役の状況

氏名	地位	重要な兼職の状況
石黒 直樹	代表取締役社長	春日井市長
加藤 達也	代表取締役専務	春日井市 副市長
天野 敦	常務取締役	株式会社 ホテルプラザ勝川 取締役
松尾 隆徳	取締役	株式会社 ホテルプラザ勝川 取締役会長
大辻 誠	取締役	ナビエース 株式会社 代表取締役社長
森田 仁	取締役	王子製紙 株式会社 春日井工場 事務部長
堀部 努	取締役	勝川駅南口ビル共有者組合 理事長
堀部 哲司	取締役	ルネック共有者組合 理事長
林 敬治	取締役	株式会社 大垣共立銀行 常務取締役
篠田 篤志	監査役	篠田篤志税理士事務所 代表
鈴木 義久	監査役	東春信用金庫 理事長

- (注) ① 松尾 隆徳氏・大辻 誠氏・森田 仁氏・堀部 努氏・堀部 哲司氏・林 敬治氏は、社外取締役であります。
- ② 監査役全員は、社外監査役であります。

# 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
流動資産	238,430	流動負債	90,687
現金及び預金	216,898	1年以内返済長期借入金	25,800
売掛金	11,933	リース債務	5,222
貯蔵品	968	未払費用	9,169
立替金	6,889	未払法人税等	23,868
前払費用	1,583	未払消費税等	12,642
未収入金	270	前受金	12,256
貸倒引当金	△114	預り金	1,727
固定資産	1,289,182	固定負債	846,227
有形固定資産	964,528	長期借入金	812,700
建物	500,763	リース債務	11,195
建物附属設備	90,720	預り保証金	22,331
構築物	3,198		
機械装置	694	負債合計	936,914
工具器具及び備品	12,789	<b>【純資産の部】</b>	
リース資産	23,443	株主資本	590,698
土地	332,918	資本金	410,600
無形固定資産	4,953	資本剰余金	300,000
ソフトウェア	4,953	資本準備金	300,000
投資その他の資産	319,701	利益剰余金	△119,901
関係会社株式	290,000	繰越利益剰余金	△119,901
出資金	170		
長期前払費用	29,531	純資産合計	590,698
資産合計	1,527,613	負債・純資産合計	1,527,613

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

〔令和 4年4月 1日から  
令和 5年3月31日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		438,303
売 上 原 価		301,071
売上総利益		137,231
販売費及び一般管理費		62,801
営業利益		74,429
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	
雑 収 入	102	105
営業外費用		
支 払 利 息	430	
雑 損 失	648	1,078
経常利益		73,456
特別損失		
固定資産除却損	281	281
税引前当期純利益		73,175
法人税、住民税及び事業税		23,750
当 期 純 利 益		49,425

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計
				繰越利益剰余金	
当期首残高	410,600	300,000	300,000	△169,326	△169,326
当期変動額					
当期純利益				49,425	49,425
当期変動額合計				49,425	49,425
当期末残高	410,600	300,000	300,000	△119,901	△119,901

	株主資本	純資産合計
	株主資本合計	
当期首残高	541,273	541,273
当期変動額		
当期純利益	49,425	49,425
当期変動額合計	49,425	49,425
当期末残高	590,698	590,698

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法  
関係会社株式・・・総平均法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）  
定額法を採用しております。  
但し、平成18年12月1日吸収合併した(株)アーバン・ルネサンス勝川から引き継いだ建物附属設備、構築物、機械装置、工具器具及び備品は定率法を採用しております。
  - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）  
定額法を採用しております。
  - (3) リース資産  
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
3. 引当金の計上基準  
貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法定繰入率等を参考として、回収不能見込額を計上しております。
4. 消費税等の処理方法  
税抜方式を採用しております。

## 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の総数  
普通株式 14,202株

# 監 査 報 告 書

第27期事業年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和5年5月9日

勝川開発株式会社

監査役 篠田篤志 ㊞

監査役 鈴木義久 ㊞